

# 海軍公報

(部内限) 第三千八百五十四號

昭和十六年七月二十五日(金)  
海軍大臣官房

## ○告示

海軍省告示第一號ノ五

海軍諸例  
則登載

參照、昭和十六年官房第七七八九號ハ支那事變申法務官、錄事、稽查  
配員ノ件ナリ(二月十七日海軍公報、部内限)

官房機密第六六二六號

昭和十五年官房機密第六七八五號中左ノ通改正ス  
昭和十六年七月二十五日

海軍大臣

第四艦隊 舞鶴鎮守府

二改ム

官房第七七八九號ノ二  
昭和十六年官房第七七八九號中左ノ通改正ス  
昭和十六年七月二十五日

第五艦隊 舞鶴鎮守府

二改ム

## ○令達

第三遣支艦  
軍法會議  
第五艦隊  
軍法會議  
第三遣支艦  
兼務二人  
兼務二人  
兼務二人  
兼務二人

海軍大臣

第三遣支艦 軍法會議 第五艦隊 軍法會議 第三遣支艦 兼務二人 兼務二人 兼務二人 兼務二人
--

總務部第一課勤務ヲ命ス  
海軍軍醫大佐川田理  
(昭和十五年十月十五日本欄参照)

## ○辭令

海軍公報(部内限) 第三千八百五十四號  
昭和十六年七月二十五日

九六三

1980

海軍公報（部内限）第三千八百五十四號

昭和十六年七月二十五日

九六四

海軍技手 正垣 大二

技術部第一課勤務ヲ命ス  
主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ（以上  
三事功 海軍航空本部）

○ 雜 款

○將旗移揚  
上海方面根據地隊司令官ハ七月二十三日將旗ヲ陸上ニ  
移揚セリ

1981'



1983

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 號外

海軍公報(部内限) 號外

昭和十六年七月二十五日(金)

海軍大臣官房

○雜款

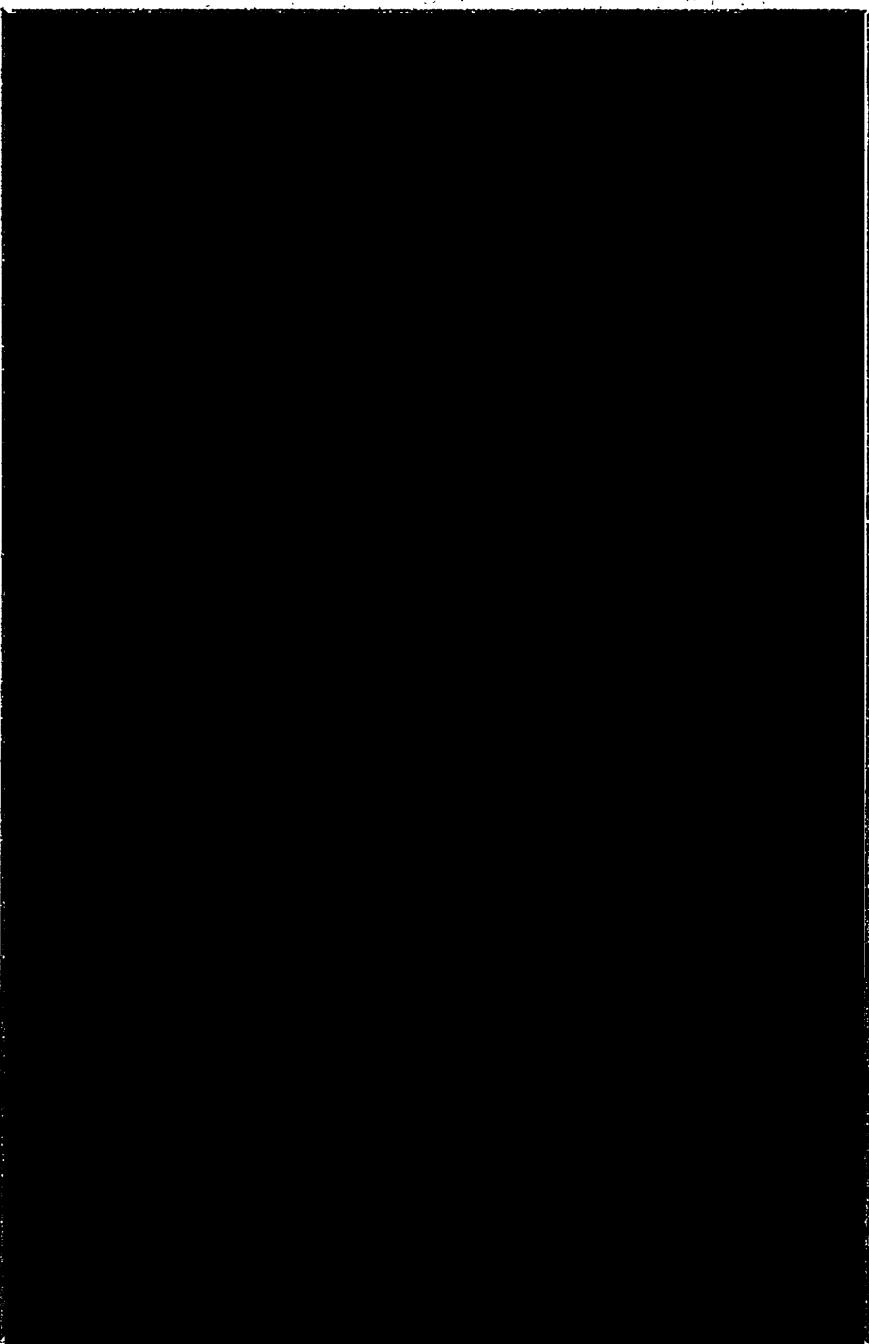
○懲罰  
懲罰言渡書

1984

海軍公報（部内限）號外

1985

海軍公報 (部内限 號外)



1986

海軍公報（部内限）號外

四

1987

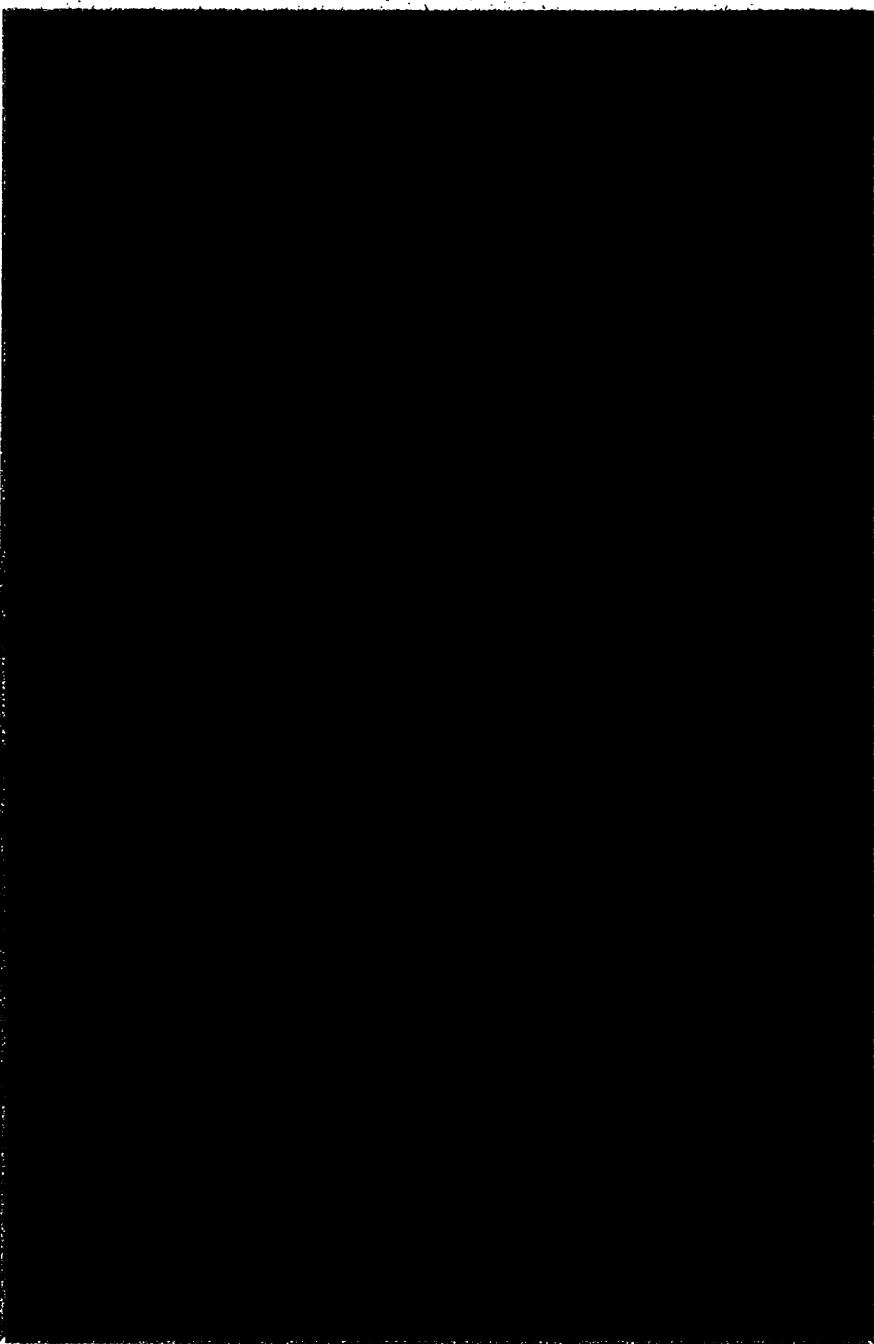
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報（部内限）號外

五



1988

海軍公報（部内限）號外

六

1989

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百五十五號

昭和十六年七月二十六日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第一〇二三三號ノ五

昭和十三年官房第三八〇〇號ノ二ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年七月五日

海軍大臣

○通牒

官房機密第三〇九一號ノ七

昭和十六年七月二十六日

海軍省副官

各應長殿

郵便物ニ關スル件申進

官房機密第三〇九一號通牒首題ノ件別冊郵便物取扱ニ  
關スル例規申左記ノ通改メラレ候

附錄所在地區別符表中「ヨンゴラップ」ノ次ニ  
記

メリレン	九五	及末尾ニ
ジヤボール	九七	

ヲ加フ  
同部隊區別符表末尾ニ左ノ如ク加フ

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令  
昭和十五年官房機密第七四四三號別表中左ノ通改正ス  
横須賀海軍砲術學校乃至横須賀海軍航空隊ノ項中「多  
摩」ヲ削ル

(昭和十五年十一月十五日海軍公報(部内限)参照)

海軍公報(部内限) 第三千八百五十五號

昭和十六年七月二十六日

九六七

第四建築部派遣員	八參
第十海軍軍用郵便所第六派出所	八四

1990

○辭令

（各通） 海軍中佐 平田 勉（艦本）  
海軍少佐 中山 義則（同）

軍艦翔鶴審議委員ヲ命ス

（各通） 海軍中佐 曽田 隆宗  
海軍少佐 岩島 二三  
海軍軍醫少佐 熊谷 好紀  
軍艦翔鶴審議委員ヲ命ス  
（以上<sup>七月</sup>海軍艦政本部）

海軍軍醫大尉 堀 内

捷（翔鶴）

軍艦翔鶴審議委員ヲ免ス  
（以上<sup>七月</sup>同）

海軍大佐 水井 靜治（艦本）

同 金 樹 義夫（大井）

海軍中佐 長澤 浩（軍令）

同 田 中 正雄（艦本）

同 國 三知夫（同）

同 山 田 盛重（軍務）

（各通） 海軍少佐 河村 富良夫（舞鶴）  
海軍大尉 原 田 種壽（大井）  
瀧 谷 隆（同）

同

九六八

海軍機關中佐 増井 三十四（舞廠）

同 海軍機關少佐 堀江 國行（大井）

水越 正作（舞鎮）

同 海軍造船少佐 富田 範郎（同）

實（艦本）

○雜款

○司令潛水艦復歸  
第十八潛水隊司令ハ七月十六日司令潛水艦ヲ伊號第五

十五潛水艦ニ復歸セリ

○郵便物發送先  
自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令、隊宛 伊號第百二十一潛水艦

隊機關長宛 同 第百二十二潛水艦

尙七月二十九日以後到達ノ見込ミノモノハ

尙世保郵便局氣付（軍事郵便）

（第十三潛水隊）

○事務所設置  
河和海軍航空隊（假稱）設立準備委員事務所ヲ七月五  
日横須賀海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

1991



敷島	佐多	知床	早鞆
(伊二四)	(伊二九)	(伊三九)	▲
峯風	沖風		
野分	日朝顏	芙蓉	舞風
驅鴨	六		
石廊			
作業地	宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、 鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、 八丈、占守、嵯峨、橋立、磐手、名取、 長門、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、 榛名、金剛、川内、高雄、鳥海、 愛宕、摩耶、加古、衣笠、古鷺、青葉、 妙高、羽黑、利根、筑摩、神通、 那珂、長良、嚴島、八重山、長鯨、 初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、常磐、 夕張、迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、 蒼龍、飛龍、龍驥、神威、千歲、 瑞穂、由良、球磨、栗、梅、蓮、刈萱、 朝風、旗風、文月、皐月、水無月、長月、 菊月、夕月、卯月、潮、曙、臘、漣、 曉、響、雷、電、吳竹、早苗、若竹、 白雲、東雲、叢雲、浦波、磯波、敷波、 綾波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、若葉、 初霜、子日、初春、白露、有明、夕暮、 時雨、大潮、荒潮、朝潮、早潮、親潮、 雪風、天津風、初風、時津風、霞		

1993

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千八百五十六號

昭和十六年七月二十八日(月)  
海軍大臣官房

## ○通牒

軍需機密燃第二三五號ノ二

昭和十六年七月二十六日

海軍省軍務局長  
關係各廳長殿

「ドラム」鑑及「ブリキ」鑑取扱ニ關スル  
件通牒

昭和十四年十二月軍需燃第二三三號通牒首題ノ件左記

第七號(口)潤滑油ノ項中「尙廢油ノ再生ナル場合ハ荷造年月日ノ次ニS(再生ノ頭字)ヲ附記ス」及別圖四  
中「再生品ナルヲ示ス場合ニ此ノ位置ニSヲ附記ス」  
ヲ削除セラレ候

主トシテ兼務處ニ於テ服務スヘシ(七月十五日)東京軍法會議主席

議首席法務官

海軍中佐 堀之内 美義(軍務)

軍艦大井審議委員ヲ命ス

海軍中佐 山田 盛重  
(以上七月十五日)海軍艦政本部

## ○雜款

○將旗一時移揚  
第五潛水戰隊司令官ハ七月二十二日將旗ヲ一時由良ヨ  
リ伊號第六十六潛水艦ニ移揚セリ

## ○懲罰特免

懲罰特免告達書

海軍公報(部内限)第三千八百五十六號

昭和十六年七月二十八日

九七一

1994

海軍公報（部内限）第三千八百五十六號 昭和十六年七月二十八日

九七二

1995



1997

(限 内 部)

# 海軍公報(部内限)第三千八百五十七號

昭和十六年七月二十九日(火)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

官房機密第六七三六號

海軍通信略語中左ノ通翰筆記入シ昭和十六年八月一日

ヨリ實施セラル

追テ追加貼付紙ハ後送ス

昭和十六年七月二十九日

海軍省副官

略語原語

ハマザ 橫濱臨時地方在

モザ 勤務官

モザ 門司同

ハコザ 南館同

ナガザ 長崎同

ダザ 大連同

ツザ 敦賀同

行

列

頁

發信用三一

受信用三一

發信用三二

受信用三二

發信用三三

受信用三三

發信用三四

受信用三四

發信用四五

受信用四五

海軍公報(部内限)第三千八百五十七號  
昭和十六年七月二十九日

九七五

### ○辭令

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(主計科海軍省)

第一課勤務ヲ命ス(主計科海軍省軍需局)

海軍大佐 松原 博

海軍機關中佐 中筋 藤一

タカザ	釜山同
高麗同	
四七	三三
右左	左左
五五	五四

1998

○將旗復歸  
第三遣支艦隊司令長官ハ七月二十五日將旗ヲ磐手ヨリ  
陸上廳舍ニ復歸セリ

大湊要港部司令官ハ七月二十六日將旗ヲ大泊ヨリ復歸  
セリ

○事務所設置  
第二十號驅潛艇裝員事務所ヲ七月二十五日岡山縣玉  
野市玉造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ  
追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

八月二十日迄ニ到着見込モノハ  
岡山縣玉野市玉海軍監督官事務所氣付  
八月二十日以後  
吳郵便局氣付

1999

○ 艤船所在

△印ハ「ハ赤」  
△印ハ「ハ赤」

○七月二十九日午前十時  
【横須賀】春日▲劍崎▲山城▲陸奥▲駒橋▲  
→多摩、赤城、千代田、→神馬

伊五四▲伊五五▲伊五八▲伊二二▲  
驅潛特五二▲驅潛特五三▲驅潛特五二▲  
哨四六▲

六

驅國後  
月

卷之三

相玉生

古驅潛一九

卷之三

佐伯

瑞鳳、鳳翔

明、默朝

舞  
鶴

卷之三

卷之三

吳

未浦 淩間、八雲、鬼怒、阿武隈、能登呂

10

呂三四

卷三十七

三

呂五七八 呂五八 呂五九 呂伊五三

卷之三

卷之三

卷之三

呂六〇、伊五九、  
哨三八、敷島、知床、早鞆

巨雪風、時津風、巨霰、陽炎、不知火、霞  
巨村雨、五月雨、巨春雨、巨海風、江風  
山風、涼風、巨谷風、浦風、磯風、巨沙風

2001

作業地	宇治、安宅、二見、伏見、伏見、伏見、伏見、	熱海、	鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、	川、不眞、
八丈、占守、嵯峨、橋立、口磐手、名取、	長門、日向、伊勢、扶桑、比叡、	高雄、鳥海、	愛宕、摩耶、加古、衣笠、古鷹、青葉、	妙高、羽黑、利根、筑摩、神通、
那珂、長良、嚴島、八重山、長鯨、	初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、常磐、	常磐、	夕張、迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、	蒼龍、飛龍、龍驤、神威、千歲、
栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、	瑞穗、由良、球磨、北上、勝力、	勝力、	菊月、夕月、卯月、潮、曙、脯、漣、	朝風、旗風、文月、臯月、水無月、長月、
白雲、東雲、叢雲、浦波、磯波、敷波、	曉、櫻、雷、電、吳竹、早苗、若竹、	若竹、	雨、初霜、子日、初春、白露、有明、夕暮、	綾波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、若葉、
時雨、大潮、荒潮、朝潮、早潮、親潮、				

巴鶴、鴻、隼、鵠、雁、雉、巴眞鵠、初雁  
呂六三、呂六四、呂六八、巴呂六五、  
呂六六、呂六七、巴伊二、伊一、伊三、  
伊六、伊七、伊八、巴伊九、巴伊一五、  
巴伊二〇、伊一八、伊一九、伊二三、巴伊五六、  
伊五七、巴伊六一、伊六二、伊六四、  
巴伊六五、伊六六、伊六九、巴伊七三、  
伊七一、伊七二、巴伊一二四、伊一二三、  
巴掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、  
巴掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、  
巴掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、  
巴掃一七、掃一八、  
巴驅潛一、驅潛二、驅潛三、巴驅潛四、  
驅潛五、驅潛六、巴驅潛七、驅潛八、  
驅潛九、巴驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
哨三九、哨三四、  
明石、崇谷、朝日、攝津、襟裳、佐多

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千八百五十八號

昭和十六年七月三十日(水)

海軍大臣官房

## ○令 繳

關係各廳長殿

官房機密第六七六九號  
本年十一月ニ於ケル一等下士官ヨリ准士官ヘノ進級及  
下士官、兵ノ任用進級ハ海軍武官任用進級取扱規則第  
二十八條第一項又ハ海軍兵進級規則第十一條ノ規定ニ  
拘ラズ左ノ如ク之ヲ線上グ實施スベシ  
一等下士官(現役)ヨリ准士官ヘノ進級

陸軍軍人又ハ軍隊ニ對シテハ海軍軍人又ハ軍隊ニ對ス  
ルト同一ノ禮式ヲ行フベキ旨海軍禮式令ニ規定セラレ  
アリ之ガ勵行ニ關シ一層留意スル様指導相成度  
追テ陸軍ニ於テモ陸軍軍人又ハ軍隊ノ海軍軍人又ハ  
軍隊ニ對スル敬禮勵行ニ關シ屢次示達セラレアリ爲  
念

下士官、兵ノ任用進級  
昭和十六年七月二十九日  
十月一日

(參照)  
○海軍禮式令第十二條 陸軍軍人又ハ軍隊ニ對シテハ  
海軍軍人又ハ軍隊ニ對スルト  
同一ノ禮式ヲ行フヘシ

○陸軍禮式令第十六條 海軍ノ軍人部隊ニ對シテハ陸

軍ノ軍人部隊ニ對スルト同様

(參考) 海陸軍准士官以下ノ官職階比較別表ノ通

(別表添)

登載  
事務  
諸例  
則定

海軍公報(部内限)第三千八百五十八號

昭和十六年七月三十日

九七九

海軍省軍務局長

## ○通牒

軍務第一六七號

昭和十六年七月二十五日

海軍大臣

九月十五日

2002

軍務第一第一六八號

昭和十六年七月二十五日

海軍省軍務局長

各廳長殿

准士官以上及候補生ノ著用スル作業服ニ  
關スル件申進

首題ノ件左記ノ通改正ノコトニ内定致候處海軍服裝令  
施行細則改正迄ハ試行ノコトニ定メラレ候

記

准士官以上及候補生ノ著用スル作業服ノ地質ハ白色又  
ハ褐青色トシ製式ハ白色ノモノハ夏衣夏袴ニ準ジタル  
モノ、褐青色ノモノハ附圖ノ例ニ依ル

（附圖添）

昭和十六年七月二十九日

海軍省人事局長

各鎮守府參謀長殿

下士官、兵補充交代ニ關スル件申進

海軍下士官兵定員補充交代規則第九條第二項ノ規定ニ  
依ル本年十一月三於ケル下士官兵補充交代ハ之ヲ實施

セラレザルコトニ定メラレ候右ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ定  
期の大異動ヲ避ケルノ趣旨ニ有之補充交代ハ所要ニ應  
ジ八月以降隨時實施スル如クシ特ニ異動ヲ局限シ一時  
期ニ多數ノ交代ハ極力避ケラル様取計相成度  
追而之ガ爲海軍定員令第十條但書ニ依ル上級補缺ハ  
差支ナキ内意ニ付申添候

艦本機密第一號ノ七一二二九

昭和十六年七月三十日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

二十耗一型機銃火薬用發射火藥符號ニ關スル件通知

當分ノ間假稱二十耗一型及同二型機銃火藥ノ符號ヲ左  
記ノ通定ム

記

假名稱符號舊新記事

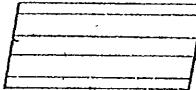
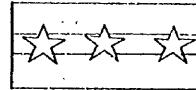
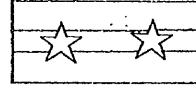
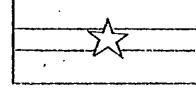
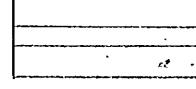
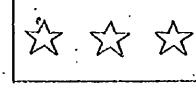
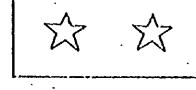
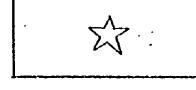
二十耗一型機銃火薬	假名稱		符號
	舊	新	
特K <sub>4</sub>	特	K <sub>41</sub>	
特K <sub>42</sub>	特	K <sub>43</sub>	

新符號一九號ヨリ  
種目一號ヨリ附

2003

(別表)

(昭和十六年七月三十日海軍公報(部内限))

備 考	陸 軍 襟 章	陸	海	海 陸 軍 官 職 階
		軍	軍	
		准尉	兵曹長	准士官
		曹長	下士官等	下士
		軍曹	下二士官等	士官
		伍長	下三士官等	官
		兵長	一等兵	兵
		上等兵	二等兵	
		一等兵	三等兵	
		二等兵	四等兵	

- 一、陸軍憲兵ハ襟章ノ兩側ニ特別徽章  
ヲ附ス
- 二、憲兵兵長ハ勅令ニ依リ判任官待遇(兵長ノ上、伍長ノ下)ナリ

2004

准士官以上作業服（褐青色ノモノ）例

（昭和十六年七月三十日海軍公報（部内限）別圖）

2005

○ 雜 款

○將旗移揚  
第二十四航空戰隊司令官ハ七月二十七日將旗ヲ基地ニ  
移揚セリ

○書類送付ニ關スル件照會(本欄参照)  
佐世保海軍航空隊出水分遣隊(戰闘機隊)ニ直接關係  
アル書類等ハ全部同隊ヘモ送付相成度  
尙轉勤者ニシテ戰闘機關係者ハ直接出水分遣隊ニ向ケ  
旅行セシメラレ度

(佐世保海軍航空隊)

○事務所設置

第二十一號驅潜艇艦裝員事務所ヲ七月二十六日大阪市  
此花區櫻島大阪鐵工所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○郵便物閉囊交換開始  
特務艦隱戸北米方面行動中同艦ト横濱郵便局間ニ軍艦  
郵便ノ取扱ヲ行ハル

(海軍省副官)

地名  
横須賀

着  
八月六日  
發  
八月八日

海軍公報(部内限)第三千八百五十八號

昭和十六年七月三十日

九八一

採用試験問題	第八十八期横須賀海軍砲術學校普通科砲術練習生	佐鎮佐舞佐長光吳	十二日
	第二期館山海軍砲術學校普通科砲術練習生	世南世保鶴保崎	十四日
	第二十期普通科測的術練習生	二十七日	十四日
	第六十期普通科測的術練習生	二十九日	十六日
	水雷學校、海軍機雷學校普通科練習生採用試験問題ヲ 左記ノ通訂正ス	三十一日	二十八日

2006

海軍公報（部内限）第三千八百五十八號

昭和十六年七月三十日

九八二

○八月一日以降雜役船飛鳥ノ給與及其ノ他ノ経費支拂  
ハ上海方面根據地隊主計長海軍主計少佐辻本賢造ヲ  
シテ之ヲ掌理セシム

（支那方面艦隊司令長官）

2007

○艦船所在

指印ハ「ハ」ノ  
ヲ要セズ

○七月三十日午前十時  
【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、駒橋▲

多摩、冲島

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五

野島、室戶

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲

呂六一、呂六二▲

尻矢

哨一▲、哨二▲

呂六二▲

驅潛一七

呂六三▲

筑紫

秋雲▲

浜風

石垣▲

見

横濱

館山

大湊

浦

石川島

鶴見

大泊

呂五二

呂五三▲

呂五四▲

呂五五▲

呂五八▲

呂五九▲

呂五七▲

呂五六▲

呂五五▲

呂五四▲

呂五三▲

伊五四▲、伊五五▲、伊五八▲、伊一二一▲、  
伊七四、伊七五、伊七〇、伊六八、  
伊一二一▲、  
驅潛特五一▲、驅潛特五二▲、驅潛特五三▲、  
伊進▲、伊二七▲、伊三五▲、  
伊七六▲、  
伊後▲、  
櫻野、隱月、鳴戸

2008

[佐世保] 那智、加賀、香椎、出雲	[夕雲] ▲
[白露] ▲ 有明、夕暮、時雨	[呂三〇] ▲ [呂三一] ▲ [呂三二] ▲ [呂三三] ▲
[呂六〇] ▲ [呂伊五九] ▲	[哨三八] ▲
[敷島] ▲ 知床、早鞆	[野分] ▲ [朝顏] ▲ 芙蓉、舞風
[伊二四] ▲ [伊二九] ▲ [伊三九] ▲	[驅潛] ▲ [六]
[石廊] □ 宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、	[鳥羽] □ 勢多、堅田、保津、隅田、□足柄、
[吳菊月朝風] □ 栗島、天龍、常磐、夕張、迅鯨、香收、青葉	[八丈] □ 占守、嵯峨、橋立、□簪手、□名取、
[早苗] □ 梅、旗風、文月、卯月、曉、轡、雷、電、叢雲	[利根] □ 羽黑、熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[若竹] □ 白雲、東雲、千歲、瑞穗、山良、球摩	[榛名] □ 嶽島、筑摩、神通、那珂、長崎、義島、
[北上] □ 大鯨、神威、勝力	[愛宕] □ 麻耶、加古、衣笠、古鷹、
[栗島] □ 五十鈴、五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[妙高] □ 熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[梅] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[利根] □ 羽黑、熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[旗風] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[榛名] □ 嶽島、筑摩、神通、那珂、長崎、義島、
[夕月] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[愛宕] □ 麻耶、加古、衣笠、古鷹、
[卯月] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[妙高] □ 熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[曉] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[利根] □ 羽黑、熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[轡] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[榛名] □ 嶽島、筑摩、神通、那珂、長崎、義島、
[雷] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[愛宕] □ 麻耶、加古、衣笠、古鷹、
[電] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[妙高] □ 熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[叢雲] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[利根] □ 羽黑、熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[東雲] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[榛名] □ 嶽島、筑摩、神通、那珂、長崎、義島、
[若竹] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[愛宕] □ 麻耶、加古、衣笠、古鷹、
[白雲] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[妙高] □ 熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[東雲] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[利根] □ 羽黑、熊野、三限、最上、鎌谷、長良、
[叢雲] □ 五十鈴、瑞穗、山良、球摩	[榛名] □ 嶽島、筑摩、神通、那珂、長崎、義島、

2009

# 海軍公報

(部内限) 第三千八百五十九號

海軍大臣官房

昭和十六年七月三十一日(木)

## ○告示

海軍省告示第一號ノ六

南進艦隊ニ艦隊軍法會議ヲ置ク

昭和十六年七月三十一日(昭和十六年夏第ニテ日本海廢止)

海軍大臣

海軍諸例  
則登載

ヲ「特設海軍病院及特設海軍氣象部」ニ改ム  
同條第八號(三)及第一一號(一)中「第四、」ノ下ニ「第五、」  
ヲ加フ

同條第一號(四)、第二號(二)、第三號(四)及(七)、第四號(五)及  
第六號(四)中「支那地方在勤海軍武官事務所」ヲ「臨時  
地方在勤海軍武官府及支那地方在勤海軍武官府」ニ改ム

同條第一號(三)中「俸給、」ノ下ニ「航海加俸、」ヲ加

同條第九號ニ左ノ如ク加フ

(三) 特設海軍氣象部ニ要スル水路費

官房機密第三五六號ノ二

臨時海軍購買名簿中別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配布セシム

昭和十六年七月三十日

第一條第一號中「特設海軍病院」ノ下ニ「、特設海軍  
氣象部」ヲ加フ

同條第二號中「第四、」ノ下ニ「第五、」ヲ加フ  
第二條第一號(二)、第三號(二)、第四號(三)及第六號(二)中  
「第四、」ノ下ニ「第五、」ヲ加ヘ「及特設海軍病院」

海軍大臣

官房機密第六六二九號  
臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス  
昭和十六年七月二十五日

海軍公報(部内限) 第三千八百五十九號

昭和十六年七月三十一日

九八五

2010

海軍公報（部內限）第三千八百五十九號

昭和十六年七月三十一日

九八六

官房第二〇五六號ノ二

海軍購買名簿中別冊ノ通改正ス  
冊、毎直首羅里昂長ノノ

別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配布セシム

昭和十六年七月三十日

海軍大臣

官房第七八九號八三

昭和十六年七月三十一日

軍法會議	軍法會議	軍法會議

改ム

(参照) 昭和十六年官房第七八九號ハ法務官、錄事等配員ノ件ナリ

官房第四一〇五號  
艦營需品定額表中數量左ノ通算  
(改正又)

昭和十六年七月三十一日

官房第四一〇六號		昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス		水雷長主管		機雷長主管		海軍大臣	
防艇驅駆敷備隊、逐遂設艦、潛艇敷二、設等等		二等巡洋艦		艦船艦戰艦、二等練習水戰		艦船部隊名稱		艦船部隊名稱	
一	一	*	*	一	*	部	要機雷術	三、二、三	消
*	*					枚	同用紙	二、一、四	耗
一						部	要機雷術別冊	二、一、四	品
*				*		枚	同用紙	二、一、四	記

2011

昭和十六年七月三十一日

海軍大臣

表中第十海軍軍用郵便所ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

(昭和十五年十月十五日本欄参照)

官房機密第六八一二號

本年七月三十一日現在左記上欄各隊ノ職名ヲ有スル者  
ハ特ニ發令セラルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各  
下欄ノ相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ  
昭和十六年七月三十一日

第四十一第八十佐世  
一通信保鎮  
守府  
艦隊  
所員  
監督官兼務一人  
長專任一人奏任  
專任四人判任  
專務九人雇員

記  
海軍大臣

(參照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナ  
リ(昭和十六年六月一日海軍公報(部内限))

官房機密第六八一一號  
昭和十五年官房機密第六七八五號中左ノ通改正ス  
昭和十六年七月三十一日

海軍大臣

第三遣支艦隊  
舞鶴鎮守府

第三遣支艦隊

舞鶴鎮守府

二改

官房機密第六八一三號

○通牒

内  
要  
登  
載

昭和十六年七月三十一日

海軍省副官

南遣艦隊

佐世保鎮守府

海軍公報(部内限)第三千八百五十九號

昭和十六年七月三十一日

九八七

九江基地隊  
南京基地隊  
舟山島基地隊

九江警備隊  
南京警備隊  
舟山島警備隊

第十五防備隊  
第十六防備隊

第十五警備隊  
第十六警備隊

2012

各廳長殿

從來通ノ取扱ニ依ル儀ト承知相成度 記

特設艦船部隊令ニ依ル特設部隊ノ設置等ニ  
關スル件通牒

特設艦船部隊令ニ依リ設置セラレタル各特設部隊設置  
ノ件ヲ廢止セラレ候處戰時編制中ニ定メラルモノニ  
付テハ同部隊ノ設置、廢止等ハ自今別ニ内令ヲ以テ發  
布セラレザル義ニ有之候條了知相成度

経物第一三〇號

昭和十六年七月三十日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

官給品ノ記帳整理省略ニ關スル件通牒

從來一ノ物品ヲ二社ニ亘リテ製造スル場合即チ甲會社  
ニ於テ一部製造ノ上之ヲ直接乙會社ニ引渡サシメ乙會  
社ニ於テ之ニ加工シ製品ト爲シ官ニ納入スル場合ノ取  
扱ニ關シテ甲會社ヨリ一應官ニ納入ノ後官ヨリ乙會社  
ニ交付ノ形式ニ依リ工作廳又ハ軍需部等ニ於テ記帳整  
理ヲ爲シ來リ候處事務簡捷上爾今之ヲ省略シ左記要領  
ニ依リ處理シ得ルコトト致候條了知相成度

追テ現實ニ現品ヲ官ニ受入レタル後官給スル場合ハ

甲乙二會社ニ亘リ一ノ物品ヲ製造スル場  
合ニ於ケル官給品受拂整理要領

一、註文元廳ハ甲會社ヨリ納入スペキ物品ヲ直ニ乙會  
社ニ引渡セシムル契約ヲ締結シ共ノ旨乙會社及所在  
監督官ニ通知スルモノトス

二、乙會社前號ノ物品ヲ甲會社ヨリ受領シタルトキハ  
直ニ甲會社ニ官給品受領證（様式第一）三通ヲ交付  
スルト共ニ註文元廳及代金支拂廳ニ官給品預リ證  
(様式第二)ヲ提出スルモノトス

三、甲會社前號ノ受領證ヲ受ケタルトキハ其ノ二通ニ  
所在監督官ノ認印ヲ受ケ一通ヲ註文元廳ニ他ノ一通  
ヲ代金請求書ニ添付ノ上代金支拂廳ニ提出スルモノ  
トス

四、代金支拂廳甲會社ヨリ前號ノ書類ヲ受理シタルト  
キハ乙會社提出ノ預リ證ト照合ノ上乙會社受領ノ日  
ヲ以テ検收ノ日トシ代金支拂ノ手續ヲ爲スモノトス  
五、乙會社ヨリ納入シタル物品ニシテ價格整理ヲ要ス  
ルモノハ代金支拂廳ニ於テ物品受領廳ニ對シ官給品

代價ヲ通知シ之ヲ加算セシムルモノトス  
(様式二葉添)

第八潜水隊司令ハ七月二十六日司令潜水艦ヲ伊號第四  
潛水艦ヨリ伊號第六潛水艦ニ變更セリ

### ○辭令

軍令部出仕海軍主計少佐 萩 武彦  
臨時戦史部勤務ヲ命ス(軍令部) 同  
軍令部出仕海軍軍醫少佐 平尾 邑男  
臨時戦史部勤務ヲ命ス(軍令部) 同

### ○雜款

○將旗復歸  
第五潛水戰隊司令官ハ七月二十五日將旗ヲ伊號第六十  
六潛水艦ヨリ由良ニ復歸セリ

○旗艦指定  
第五艦隊司令長官ハ七月二十五日旗艦ヲ多摩ニ指定セ  
第十八驅逐隊司令ハ七月二十八日司令驅逐艦ヲ一時假  
ヨリ不知火ニ變更ス

○司令潛水艦變更

海軍公報(部内限)第三千八百五十九號

昭和十六年七月三十一日

九八九

○郵便物發送先  
第六根據地隊司令部宛

○特設運送船金龍丸行動豫定變更(本欄參照)  
第六防備隊宛 同 第九〇四五  
第六通信隊宛 同 第九〇一九  
所屬艦船宛 同 第九〇四〇

地名 横須賀 游着 橫須賀 游着 橫須賀 游着  
大須賀 游着 八月二十九日 八月二十七日  
須賀 游着 八月三日 八月一日  
戶 舊 五日  
戶 舊 八日  
戶 舊 十一日  
戶 舊 十五日  
戶 舊 二十一日  
戶 舊 二十三日  
戶 舊 二十四日  
戶 舊 二十五日  
神吳光神横大神吳舞佐吳世保

2014

樣式第一

(昭和十六年七月三十一日海軍公報(部内限))

乙  
會  
社  
名

2015

官給品契約番號	品名數量	納期	持込年月日	受領年月日	充當契約番號

備考 品名、數量ハ要スレバ品名、規格、寸度、數量等ノ欄ヲ設ケタル内譯書ヲ添付スルコト

樣式第二

昭和年月日

(昭和十六年七月三十一日海軍公報(部内限))

乙  
會  
社  
名

備考 一、日附ハ甲會社宛受領證ノ受領年月日ト符合セシムルコト  
二、記事欄ヘハ納入會社（甲會社）名及其ノ契約番號ヲ記載ノコト

2016

○艦船所在

▲印ハ「ハボ」ノ  
指定ヲ要セズ

○七月三十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、駒橋▲  
多摩△、沖島△

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五

室戸

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊三三)▲

呂六一△、呂六二△

尻哨一△、哨二△

呂矢

筑紫△

能登呂

秋雲△

石垣△

浜風△

大泊△

伊五二△

伊五三△

伊五四△

伊五五△

伊五八△

伊一二三△

伊七四△

伊七五△

伊七〇△

伊六八△

伊一二一△

伊七三△

伊七一△

伊七二△

驅潜特五一△

驅潜特五二△

驅潜特五三△

哨四六△

驅潛特五四△

驅潛特五五△

驅潛特五六△

驅潛特五七△

驅潛特五八△

驅潛特五九△

驅潛特五〇△

驅潛特五一△

驅潛特五二△

驅潛特五三△

驅潛特五四△

驅潛特五五△

驅潛特五六△

驅潛特五七△

驅潛特五八△

驅潛特五九△

驅潛特六〇△

驅潛特六一△

驅潛特六二△

驅潛特六三△

驅潛特六四△

驅潛特六五△

驅潛特六六△

驅潛特六七△

驅潛特六八△

驅潛特六九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

驅潛特七五△

驅潛特七六△

驅潛特七七△

驅潛特七八△

驅潛特七九△

驅潛特七〇△

驅潛特七一△

驅潛特七二△

驅潛特七三△

驅潛特七四△

2018